

地域での活動(2)

地下調節池

10月20日(月)、杉並防火防災協会高井戸地区連合支部の研修として、「神田川・環状七号線地下調節池」を視察しました。当日は、事業の経緯や取水の仕組みを説明いただいた後、実際に地下施設も見学しました。



当時は階段で昇り降りしたこともあり、改めて施設の壮大さを実感しました。**豪雨による浸水被害を減じるため**には、身近なところでの対策ももちろん大切ですが、こうした公共事業の必要性も再認識する機会となりました。なお、視察後に行われた定期役員会では、9月30日(火)に発生した堀ノ内1丁目での擁壁倒壊事故(住宅1棟が倒壊し、瓦礫が区道及び北側共同住宅に流入)における消防隊の活動もご説明いただきました。

認知症サポーター

11月22日(土)、所属町会主催の「認知症サポーター養成講座」を受講し、ケア24高井戸の方からお話を伺いました。



前回の区政報告(第88号)では専門セミナーを受講したことについてご報告しましたが、高齢者等が認知症になっても、尊厳を保持し、希望をもって、住み慣れた地域で自分らしい生活を送るための体制を区内に整えていくためには、自身の知見を常に更新していくことが必要です。今後も定期的に新たな知見等を取り入れ、区政に活かしていきたいと思います。

防犯セミナー

10月25日(土)、所属町会主催の「防犯セミナー」に参加しました。当日は、高井戸警察署防犯係の方からお話を伺い、「リアクションした場合の具体例」等についても説明いただきました。



杉並区でも、特殊詐欺の被害は拡大しております(令和6年上半期は51件1億5,987万円のところ、令和7年上半期は65件3億5,835万円)。

また、お話を聞く中で、リフォーム詐欺については区立消費者センターが所管ということから、**警察と消費者センターとの連携強化の必要性**を感じました。伺ったお話を、区政の防犯施策にも活かしていきたいと思います。

子どもの権利

11月27日(木)、地域教育連絡協議会に参加し、講演会「杉並区子どもの権利に関する条例」について考える”を聴講しました。講師は杉並区子どもの権利救済委員の方。「子どもの権利」について歴史的沿革も含めてお話されるとともに、**杉並区の「子どもの権利相談・救済窓口」の特徴・仕組み**等も説明されました。

「杉並区子どもの権利に関する条例」の議会審査において、私は「子どもの意見を尊重するにあたり、条約や法に規定されている“年齢や発達の程度に応じて”という文言が削除されている」とことから反対しましたが(区政報告第86号)、子どもの権利を守ることは当然必要です。杉並区の「相談・救済窓口」の状況等、区の取組を今後もチェックしていきたいと思います。

杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第89号(令和8年新年号)



発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103
TEL/FAX:03-3247-8660 E-Mail:ikuma@gakushikai.jp
HP:<http://ikuma-iwata.net> (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。令和5年5月より6期目。趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。家族:妻、長男(22歳)、長女(20歳)、次男(18歳)。



P.1 済美養護学校中学部の移転について

P.2 文教委員会での他自治体視察について

P.3 議会活動(議会内研修)について

地域での活動について(1)

P.4 地域での活動について(2)

済美養護学校中学部・新校舎等を視察

～令和7年9月から新学校生活を開始～

【済美養護学校中学部移転の経緯】

済美養護学校では、**児童・生徒数の増加^{(*)1}に伴う教室不足が課題**となっておりました。

その対応として、善福寺川を挟んで隣にある済美教育センターの敷地・建物を活かし、**中学部を移転**することとしました。

令和4年6月の基本設計着手から約3年、済美教育センターの増築及び改修が完了し、令和7年9月から中学部が移転しました。それを受け、11月5日(水)、文教委員会として「済美養護学校小学部・中学部及び済美教育センター」を視察しました。

(*)1平成30年度:112人、令和元年度:131人、令和2年度:145人(令和3年3月の、私の議会質問に対する答弁)。参考ながら、令和7年度は199人。

【視察の概要】

当日は、済美教育センターの沿革や新施設の概要説明を教育委員会管理職から受けた後、済美養護学校校長先生から小学部・中学部の学校概要等について説明を受けました。

そして、「ふれあいアートギャラリーat善福寺川^{(*)2}」のオープニングセレモニーに参加した後、実際に**授業中の「中学部・済美教育センター」及び「小学部」を視察**、最後に懇談・質疑応答を行いました。

(*)2善福寺川の欄干部分を屋外ギャラリーとし、済美養護学校の児童・生徒や近隣の学校、関係施設、地域住民の作品を展示する取組。



令和7年9月～



私自身、令和2年12月の済美教育センター訪問(区政報告第69号にて報告)を経て、令和3年3月の予算特別委員会文教分科会において、「**済美養護学校の環境整備(児童生徒数増への対応)**として、**済美教育センターの有効活用も考えられるのではないか**」と意見を述べており、今回の視察は感慨深いものがありました。

子供達がより良い環境で学ぶことができるよう、これからも様々な課題に対して**「より良い解決策」を議会から提言**していきたいと思います。

次回の定例区議会(令和8年第1回定例会)は、2月12日(木)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

E-Mail:ikuma@gakushikai.jp もしくは FAX:03-3247-8660

議会活動(文教委員会:他自治体視察)

10月22日(水)～23日(木)、文教委員会として、「学びの多様化学校について^(*)3)」(三重県)、「いじめ対策について」(伊勢市)をテーマに視察を行いました。

(*)文部科学省の指定により、不登校児童・生徒の実態に配慮した特別の教育課程を編成して教育を実施する学校。

【学びの多様化学校について】

10月22日(水)、県立みえ四葉ヶ咲中学校へ伺いました。

同校には、「夜間中学コース(様々な理由で義務教育を十分に受けられなかった人が対象)」と「学びの多様化学校コース(不登校、不登校傾向にある中学生が対象)」があり、共に学んでいます。

当日は、まず校長先生から

- 開校までの道のり
- 同中学校での学びの特徴

等を説明いただき、その後、授業をしている中、施設を見学させていただきました。



校長先生のお話の中では、「学びの多様化学校とは、学ぶ意欲を育てる学校」との言葉が印象的でした。また、学校が苦手な子にとっては、お手洗いの清潔さ等、校舎内環境も重要であることを伺いました。

杉並区でも、令和10年度に、高南中学校の分教室として「学びの多様化学校」を設置予定です(設置場所:旧高円寺図書館(杉並区高円寺南2-36-25)。受入生徒数:約50名)。今回伺ったお話や実際に施設・授業を見学したうえでの学びを、活かしていきたいと思います。



生徒数	
夜間中学コース	44名
学びの多様化コース	30名

【いじめ対策について】

10月23日(木)、三重県伊勢市へ伺いました。

当日は、まず健康福祉部福祉総合支援センターこども家庭相談係の方から「いじめ防止対策の取組」と、「学校との連携の実際のケース」についてお話を伺いました。

その後、同様の職場でもある「健康福祉ステーション^(*)4)」内を案内いただきました。

(*)5階:市民の健康づくり・子どもの育ちや発達の支援拠点、6階:妊娠出産・子育て世代支援拠点、7階:福祉の総合相談支援拠点(こども家庭相談係もあるフロア)。



杉並区でも、令和7年区議会第1回定例会において「杉並区いじめの防止等に関する条例」を制定^(*)5)する等、いじめ対策に取り組んできています。

一方、伊勢市では「学校や教育委員会とは違う立場でご相談をお受けします」と上記チラシに記されているように、福祉部門が学校との連携を図りながら対応をしております。

杉並区では、昨年9月に「子どもの権利相談・救済窓口」が開設され、本年11月には区立児童相談所も開設されます。「福祉と教育の連携強化」をいかに図っていくか、視察で得た知見も活かして取り組んできたいと思います。

(*)区政報告第86号で取り上げております。



議会活動(議会内研修)

12月4日(木)、議会内に設置された「諸課題検討会^(*)6)」において、拓殖大学教授の河村和徳氏をお招きし、「議員定数のあり方について」をテーマに意見を伺いました。また、12月8日(月)には、弁護士の帖佐直美氏をお招きし、政治分野における男女共同参画の推進に関する法律に基づく「議員のためのセクシャルハラスメント・マタニティハラスメント等防止研修」を行いました。

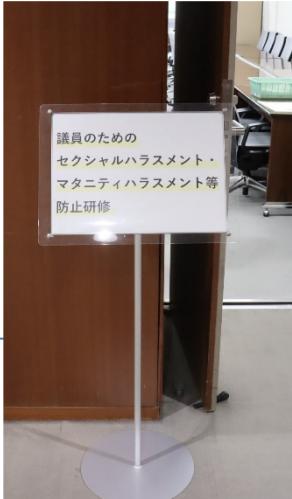
(*)6) 杉並区議会内で課題として挙がっている「議員定数の見直し」「願意が満たされた請願・陳情の取扱い」「本会議場での質疑時間や年間持ち時間制限の導入」について検討する組織。



河村氏からは、議員定数を考えるに当たっては、「議論する場(委員会):会議体として何人が適切か」と「議決する場(本会議):住民の多様性の反映」の2つの性格を意識することについて、示唆をいただきました。

ハラスメント研修では、ハラスメントの類型や「人格権の侵害」に当たる事案等について、ご説明いただきました。

議会でのICT活用推進(私も所属する、議会内に設置された「ICT活用推進検討委員会」において議論)も含め、議会活動の一環として今後も取り組んでいきたいと思います。



地域での活動(1)

小学校ゲストティーチャー

10月17日(金)及び24日(金)、子供がかつて在籍した区立小学校にて、今年も運動会表現種目のゲストティーチャーとして、授業に参加しました。今年も対象は5年生。運動会当日も“掛け声”で参加しました。



毎年授業に参加させていただくことで、その時々の子供達の様子を現場で実感することが出来ます。また、先生方の授業での子供達への接し方から、「今、求められる子供達との関わり方」について、私も学ぶところがあります。今後とも、様々な形で学校に関わる中で、区立学校のより良いあり方を考えていきたいと思います。



子ども秋まつり

10月26日(日)、今年度も「高井戸・久我山子ども秋まつり」に小学校放課後子ども教室実行委員会として参加しました。



当日は、1年生～6年生の5人が「子どもスタッフ」として、モルック^(*)7)の得点記入や景品(バルーンアート)づくり等を手伝ってくれました。

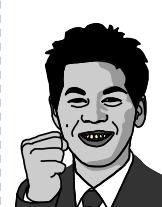
(*)7) 木製の棒を投げて番号の書かれた木製のピンを倒し、得点を競うゲーム。

当日はあいにくのお天気でしたが、参加者数は総計981人とのことでした。「子どもスタッフ」として子供達の自主性を育み、仲間関係を深めるこうした地域の行事には、今後も積極的に関わっていきたいと思います。

防災訓練／体験会 等

地域の防災関連活動として、

- 都立高井戸公園あおぞら防災体験会(10月18日(土))
 - 沿風会総合防災訓練(11月12日(水))
 - 小型消防ポンプ点検立会い(11月14日(金))
- に参加しました。



各種訓練／体験会では、水消火器や煙ハウス体験、かまどベンチ・防災トイレ・ソーラータイプ防災用ライトの確認や防災ドローンのデモ飛行見学等を行いました。

日頃からこうした機会に参加することで、地域に存在する防災資源の確認等を、これからも継続的に図っていきたいと思います。